

# Com Up App

- Communication Up Application -



# コミュニケーションをあげる

- ◆ コミュニケーションをあげるために
  - ◆ 早いレスポンス
  - ◆ 数多くのソーシャルネットの使用
- ◆ このアプリを開いている時にこっちは見るのめんどい



# 返事の速さは仕事や恋愛に・・・？



## 気がある時のメールLINE返信！恋愛における返信の速さが重要だった！

気がある時のメールLINEの返信は、恋愛における返信の速さにも影響します。メールLINEの返信が早いほど、親しい関係にある事を意味しています。相手からのメールLINEの返信がどれくらい早いかをチェックして、どのような関係性にあるか確認しておきましょう。



renproさん B! 0

## 優秀な人ほどメールの返信が速く、メールを軽視する人ほど仕事が出来ない

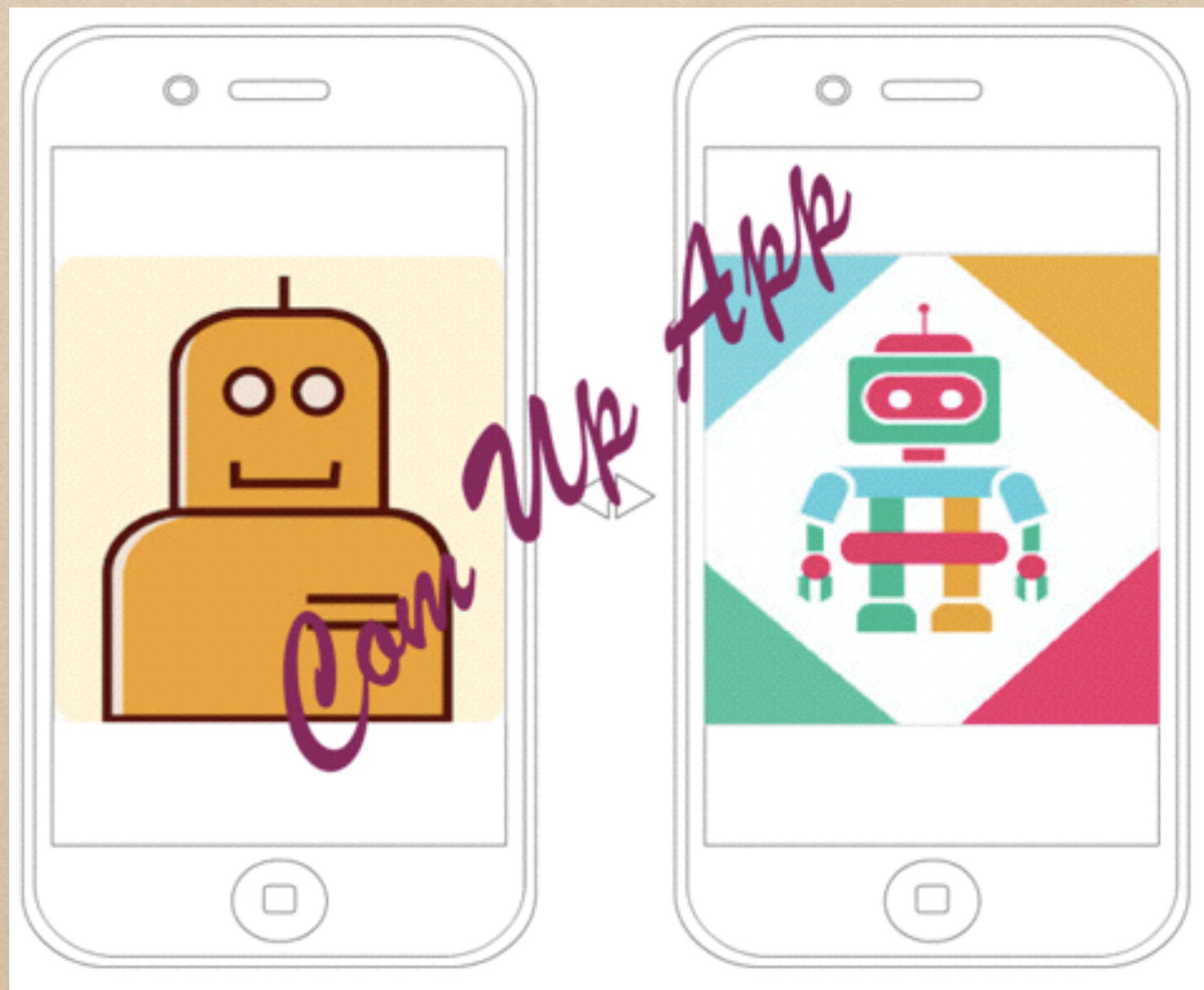
🕒 2016/5/17 🔄 2016/11/17 📁 [お役立ち](#)

🐦 1 📺 14 🍷 0 B! 0 🍷 1 ⚡ 1 🏠 8





そんなあなたに！！





# アプリケーションの提案

- ◆ slack & line
- ◆ slackのチャンネルで通知があった場合、lineでその通知がわかるようにする
- ◆ line でレスポンスしてもslackでも通知してくれる
- ◆ @boss のようなメッセージはその人にしかlineが  
いかない



Let's DEMO!!





# 使う技術

- ◆ ぶっちゃけフロントいらず (line様slack様)
- ◆ node.js (express, mysql, {http.https} connection)
- ◆ slack bot (Bots)
- ◆ line bot (messagingAPI(push API), web hook)
- ◆ AWS (EC2, LB, ROUTE53, Certificate Manager)

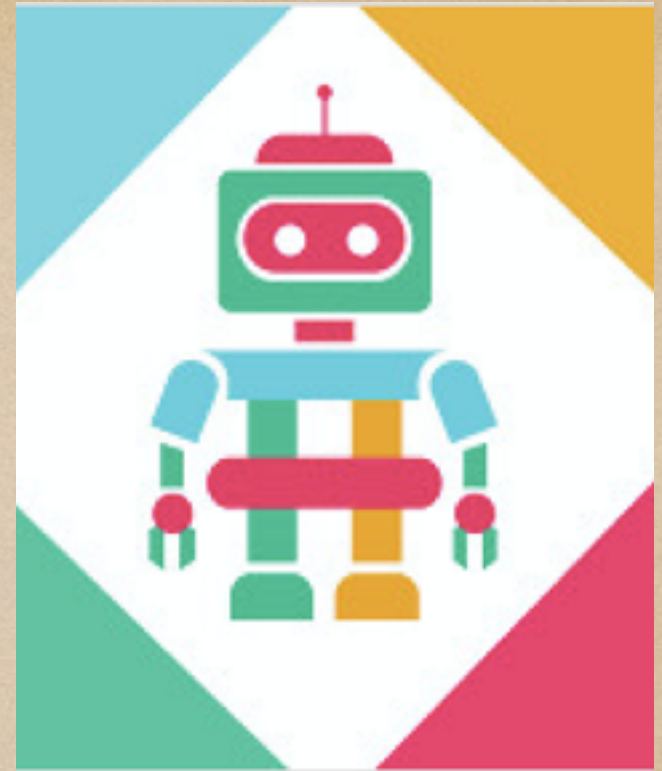


# node.js

- ◆ expressで実装
- ◆ ORMを用いてデータベースをオブジェクト化
- ◆ は次回までにやります！！



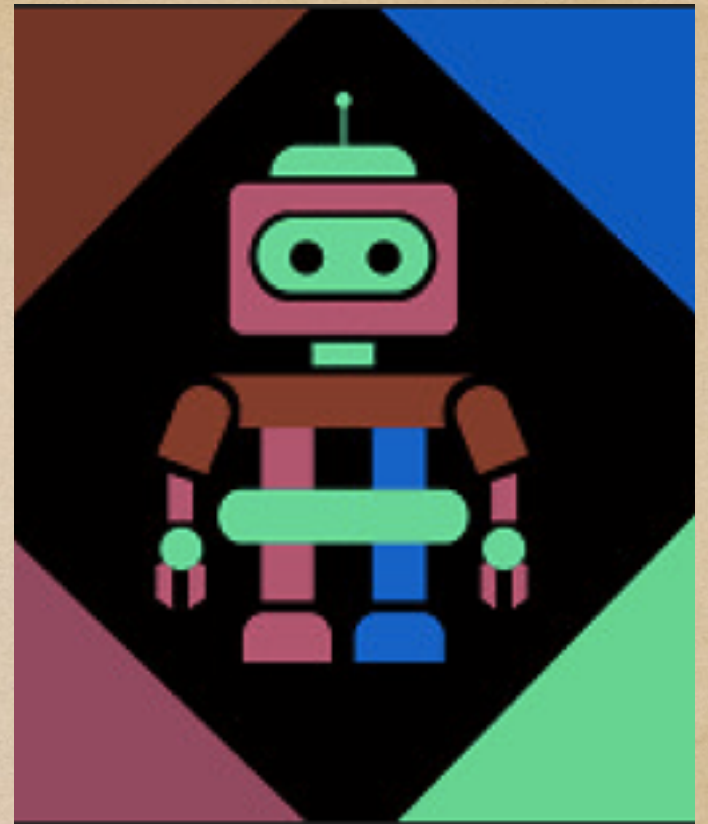
# line bot



- ◆ messaging api (2016/9/29 release!!)
- ◆ line bot 側からメッセージを送ることが可能



# line bot



- ◆ messaging api (2016/9/29 release!!)
- ◆ line bot 側からメッセージを送ることが可能

BUT!!!!



# line bot is so difficult...

## ◆ Issue

1. webhook受け取ることができない問題
2. requestのポートが固定されている問題
3. 研究室サーバーじゃ無理



# line bot is so difficult...

## ◆ Solution

1. Heroku の Fixie のプロキシみたいなやつ
2. いっそ SaaS を使う



Let's SaaS (AWS)



**amazon**  
**web services™**



# 3 minutes AWS cooking

1. Get your account!
2. Build EC2
3. Setting Security group
4. git pull!!
5. Application Start!!



と思ったであろう





# なんでこれじゃだめなのか

- ◆ EC2 じゃSSL証明書発行ができない(LB可)
- ◆ これじゃ証明書の発行ができない
- ◆ なんじゃい！証明書って！！ってなる
- ◆ SSL? Pardon??

## AWS Certificate Manager

AWS Certificate Manager により、AWS の各種サービスで使用する Secure Sockets Layer/Transport Layer Security (SSL/TLS) 証明書のプロビジョニング、管理、およびデプロイを簡単に行えます。SSL/TLS 証明書は、ネットワーク通信を保護し、インターネットでウェブサイトのアイデンティティを確立するために使用されます。AWS Certificate Manager を使用すれば、SSL/TLS 証明書の購入、アップロード、および更新という時間のかかるプロセスを手動で行う必要がなくなります。AWS Certificate Manager を使えば、証明書のリクエスト、および Elastic Load Balancing や Amazon CloudFront ディストリビューションといった AWS のリソースでの証明書のデプロイを簡単に行うことができます。また、証明書は自動的に更新されます。AWS Certificate Manager でプロビジョニングされた SSL/TLS 証明書は無料です。お支払いいただくのは、アプリケーションを実行するために作成した AWS リソースの料金のみです。



Let's make SSL





# 3 minutes SSL cooking

1. Build Load Balancer!
2. Connect EC2
3. Certificate Manager
4. success!!



と思ったであろう

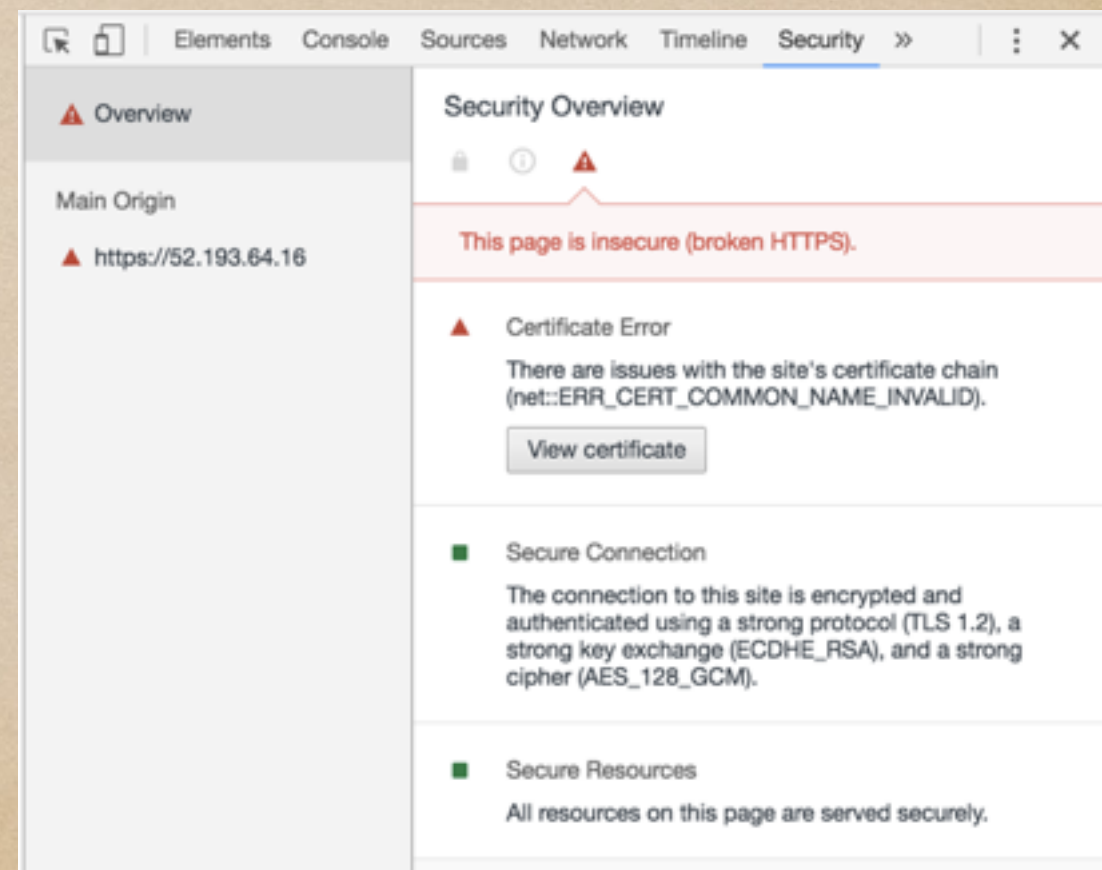




# なんでこれじゃだめなのか

- ◆ 証明書の認証にドメインが必要
- ◆ ドメインとLBのipが紐づく必要がある！
- ◆ ルーターだ！！

▲ <https://52.193.64.16>





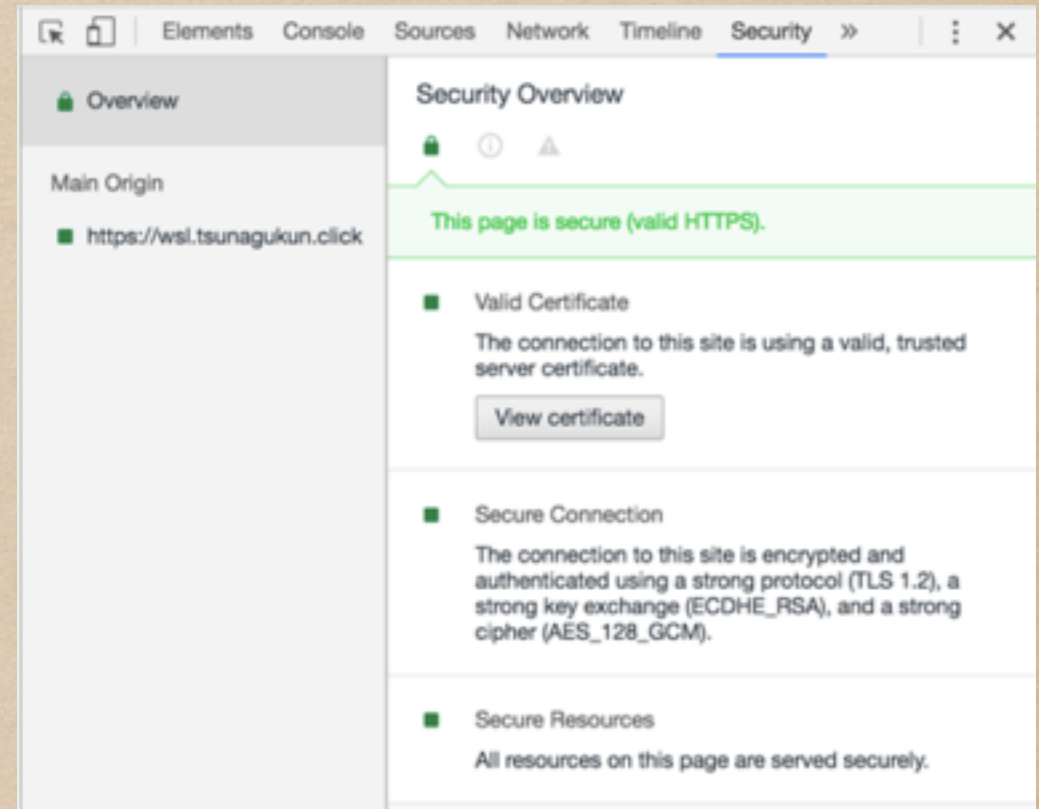
Let's make Router





# NOT 3 minutes Domain Cooking

1. Route 53 build!
2. Get domain! (\$8)
3. SSL Certain LB with Certificate Manager



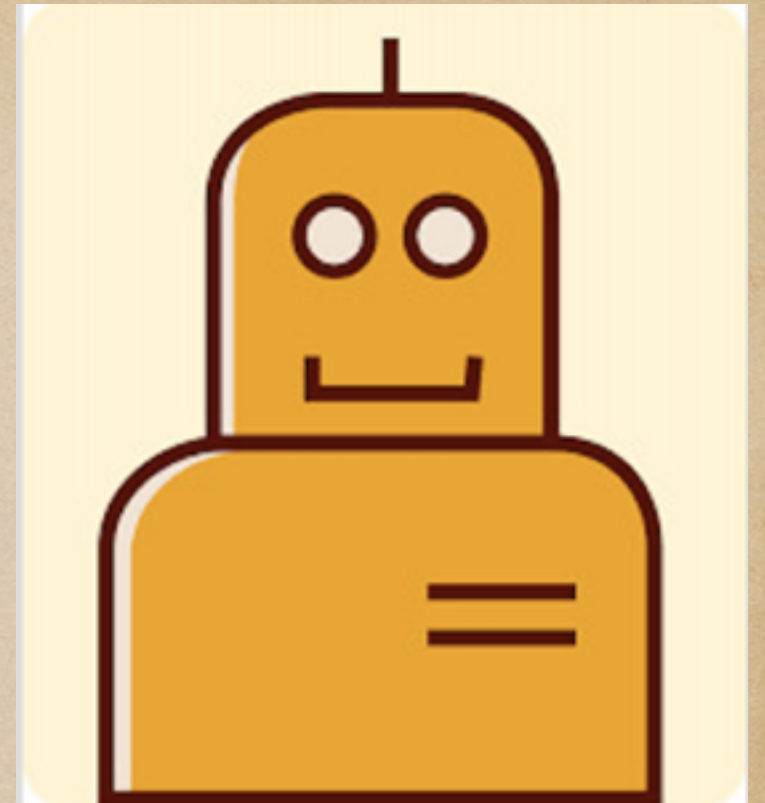


やっと完成！  
Line\_botはね！！





# slack\_bot



- ◆ 使った機能

1. @slack/client

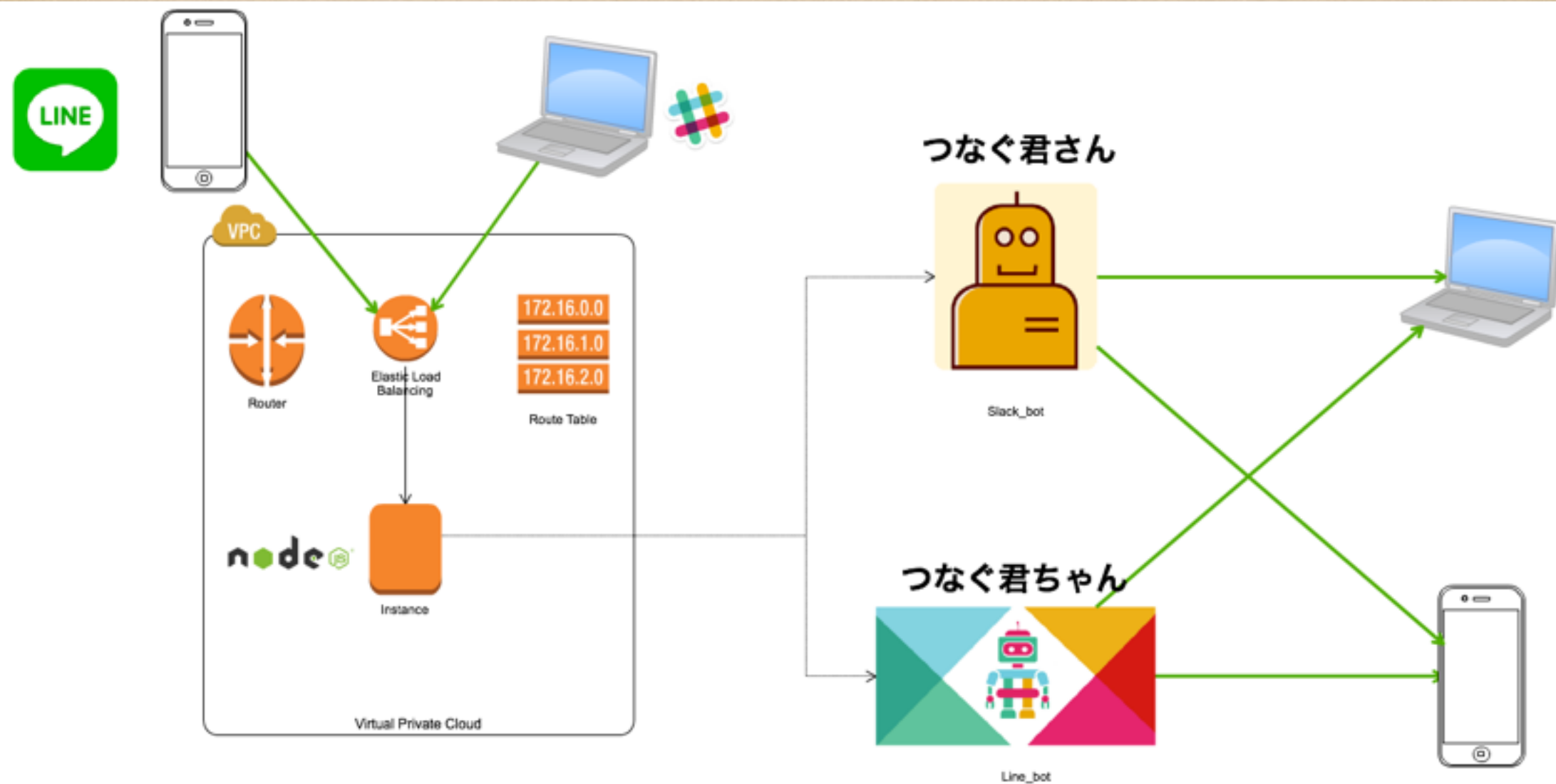
- ◆ RtmClientで所属チャンネルの監視
- ◆ http通信でやりとりが可能



んでできたインフラ



# 構成





# 今後の拡張

- ◆ チャンネル登録の可能化
- ◆ node.jsの良さを活かす
  - ◆ socket通信(サーバー間のやりとり最適化)
  - ◆ socket.roomを使ってチャンネル毎の通信
- ◆ line\_botをもっと使う(リッチメッセージなど)



TO BE  
CONTINUED